

初台リハビリテーション病院 第1回 区西南部地域リハビリテーション講演会を開催しました

2014年度より当院にてスタートしました地域リハビリテーション支援事業のキックオフとして、7月15日に地域リハビリテーション講演会を下北沢の北沢タウンホールで開催いたしました。講師として厚生労働省 老健局老人保健課長の迫井 正深先生と小倉リハビリテーション病院 名誉院長の浜村 明德先生からそれぞれご講演をいただきました。遅い時間からの開演ではありましたが会場は満席となり、参加された皆様が地域リハビリテーションへの理解を深める講演会となりました。



船橋市立リハビリテーション病院 院内を彩る胡蝶蘭に思いを込めて

船橋市立リハビリテーション病院では6月から、院内のお迎え口である玄関ホールと、各階のエレベーターホールのお花を胡蝶蘭に変えました。

胡蝶蘭の花言葉は「幸福が飛んでくる」「変わらぬ愛」だそうです。患者さま・ご家族さまに、思いを贈りたいと思います。胡蝶蘭の専門店から取り寄せており、さまざまな色や花の形を楽しめます。白の胡蝶蘭は「清純」、ピンクの胡蝶蘭は「あなたを愛します」だそうです。各階の胡蝶蘭を是非お楽しみください。



船橋市リハビリセンタークリニックが7月1日オープンしました

7月1日の船橋市リハビリセンタークリニックのオープンに向け、6月26日に内覧会を行いました。足元が悪い中、たくさんの方々にお集まりいただきました。皆様の御期待に沿えるよう、チーム医療を実践し、輝生会として質の高いリハビリテーションを提供してまいります。



在宅総合ケアセンター元浅草 鳥越祭りのご報告

台東区の伝統のお祭りである鳥越祭りが6月7日・8日に開催されました。毎年の恒例行事ということで当センター職員も20名ほど参加し、都内最大級の御神輿を担いだり、交通整理などのお手伝いをさせていただきました。みんな良い表情しています！

これからも地域に根ざした活動を通して交流を深めながら充実した医療・介護サービスを提供できるよう努めて参りますので今後ともよろしくお願い致します。



在宅総合ケアセンター成城 毎月1回みんなで楽しむ病棟レクリエーション

在宅総合ケアセンター成城の病棟では、季節に合った行事を月1回病棟レクリエーションとして実施しております。今回は、新鮮なフルーツを使ってフレッシュジュースを作りました。入院患者さまが全員参加できるよう、病棟レクリエーションの数日前からポスターを掲示し意識づけを図りつつ、リハビリ時間も配慮しております。さらに当日は、準備の段階から患者さまが主体となって作業が行えるよう、病棟スタッフは陰でお手伝いしております。今後も男女問わず楽しい時間となるよう、企画・運営をしてまいります。



季刊情報誌「輝net」 編集・発行 医療法人社団 輝生会 本部/〒151-0071 東京都渋谷区本町3-52-6 <http://www.kiseikai-reha.com>

初台リハビリテーション病院	〒151-0071	東京都渋谷区本町3-53-3	TEL.03-5365-8500	http://www.hatsudai-reha.or.jp
船橋市立リハビリテーション病院	〒273-0866	千葉県船橋市夏見台4-26-1	TEL.047-439-1200	http://www.funabashi-reha.com
船橋市リハビリセンター	〒274-0822	千葉県船橋市飯山満町2-519-3	TEL.047-468-2001	http://www.funabashi-rehacen.com
在宅総合ケアセンター元浅草	〒111-0041	東京都台東区元浅草1-6-17	TEL.03-5828-8031	http://www.motoasakusa-reha.com
在宅総合ケアセンター成城	〒157-0072	東京都世田谷区祖師谷3-8-7	TEL.03-5429-2292	http://www.seijo-reha.com

本誌へのご意見ご要望はメールにてお寄せください。 info@hatsudai-reha.or.jp



kisei・kai
情 報 誌



輝生会のアメニティ ～初台リハビリテーション病院の取り組み～

輝生会ではご利用くださる方々が快適に過ごしていただくための環境にいろいろ工夫をしています。その雰囲気づくりの脇役としてのアメニティについて今回は初台リハビリテーション病院の取り組みをご紹介します。

《植栽と生花》

院内には鉢植えの緑が大小合わせて70鉢あります。正面玄関から入ると真正面に見えるのは柱周りの鉢植えのお花ですが、来院される方の関心も高いようで、交換している園芸屋さんはたびたび「これは何という花ですか」とか「毎週楽しみにしています」とよく声を掛けられるので、仕入れる鉢植えの種類にも気合をいれているとのことです。



また、生花のアレンジメントを受付や各エレベーターホールなどに飾り、1階のラウンジには季節に応じて桜、アジサイ、紅葉などのお花を飾っています。これらの植物のおかげで無機質になりがちな病院の生活空間が生き生きとした場に様変わりします。

《ウォールアートとしての絵画》

1階には文化勲章を授章された洋画家・吉井淳二氏の作品が5点飾られています。2階待合スペースの大きな絵は洋画家・高橋弘樹さんの大作、各病棟にかけられている作品は絵そのものを鑑賞していただくだけでなく、絵とそれに合わせた額縁が周辺の雰囲気と溶け込むように配慮し、色合いや質感がその空間全体と調和することを目的に装飾しています。

《折々に変わる装飾小物》

院内の廊下など50か所に様々な置物を飾っています。季節や行事によって入れ替えることで入院生活が退屈なものにならないように、ときにはその置物が皆様の思い出に繋がったり、スタッフとの会話のきっかけになればと願っています。1階ラウンジでは2月には「七段飾りのお雛様」、4月中旬から5月中旬にかけては「鯉のぼりと兜」、11月には4メートルの「クリスマスツリー」などをサポート部総出で飾り付けます。



《コンサート》

「音楽のひととき」は開院以来毎週土曜日に開催され、クラシックを中心に毎回1時間程度のコンサートはすでに600回を超えました。「一緒に歌いましょう」のコーナーを楽しみにしてくださっている方も多く、おしゃべりに慣れない演奏者にとってはこの時が一番ドキドキするそうです。

「ミニコンサート」は不定期ですが水曜日に開催し、土曜日とは異なったジャンルや雰囲気を楽しんでいただくよう取り組んでいます。

今後より快適な環境を提供できるよう工夫をこらしていきたいと思っています。

(文責：総合企画室(患者サービス向上・環境整備担当) 山田陽子)



基本理念と方針

- | | | |
|-----------------|-------------------|----------|
| ■「人間の尊厳」の保持 | ■「地域リハビリテーション」の推進 | ■「情報」の開示 |
| ■「主体性・自己決定権」の尊重 | ■「ノーマライゼーション」の実現 | |

患者さまの権利

- | | | |
|------------------------|---------------|-------------------|
| ■ 人権を尊重される権利 | ■ 最善の医療を受ける権利 | ■ 自らの意志で選択・決定する権利 |
| ■ 自分の診療の情報や記録を知り、求める権利 | | ■ プライバシーの保護を求める権利 |

船橋市における 地域リハビリテーション推進の取り組み

船橋市では、急性期から回復期・維持期(生活期)に及ぶ船橋市の地域リハの推進に必要な事項を協議することを目的に、医療・福祉関係団体、行政から構成される「船橋市地域リハビリテーション協議会」が2007(平成19)年に設置されました。

さらに、この協議会の活動を基盤とし、地域に根ざしたリハをなお一層推進することを目的に、リハの現場で働く有志がボランティアとして世話人となり、2009(平成21)年10月10日に「第1回船橋市地域リハビリテーション研究大会」が開催されました。

以後世話人で議論を重ね、会の名称を「船橋市地域リハ研究会」と定め、活動を継続していくこととしました。地域リハ研究会の活動として、年2回の「地域リハビリテシ

ョン研究大会」、市域を3ブロックに分けて行う「地区勉強会」、「市民公開講座」、「摂食栄養サポート勉強会」、「船橋地域介護職員向け勉強会」、「船橋市リハビリテーション提供機関マップ作成」を行ってきました。

2014(平成26)年4月、船橋市リハビリセンターが地域リハビリテーション支援拠点と位置づけられ、「地域リハ研究会」と連携・協力し、これまで行ってきた活動を「地域リハビリテーション拠点事業」として継続、発展させていくこととなりました。

本事業では、リハビリテーションについての普及啓発活動、各種勉強会・研修会の開催、ネットワーク構築、生活期リハについての実態把握、リハビリテーション総合相談等を行います。

船橋市地域リハ研究会

研究大会

各回とも講演やシンポジウムを交えて年2回(通算9回)開催しています。

市民公開講座

市民に「地域リハビリテーション」の理解を深めてもらうことを目的に公開講座を開催しています。多くの方にご参加いただいています。

摂食栄養サポート勉強会

地域リハ研究会世話人の中から船橋歯科医師会・船橋市栄養士会・船橋市立リハビリテーション病院言語聴覚士らが中心となり、勉強会を開催しています。年2回、講義形式とグループワーク形式の勉強会としています。

船橋市介護職員向け勉強会

第1回地域リハビリテーション研究大会にて実技の勉強会開催の要望が聞かれ、始まりました。市内の施設や訪問・通所系事業に従事する介護職員向けにリハビリテーションの視点を取り入れた介護技術について、主に船橋市立リハビリテーション病院スタッフが講師となり、移動・移乗・栄養・嚥下・コミュニケーション・体操など、実技を中心とした勉強会を行っています。平成22年から行い、合計24回、延べ1,000人の方にご参加いただいています。



市民公開講座



摂食栄養サポート勉強会風景



介護職員向け勉強会風景

地区勉強会の歩み

- ▼H22.4.14
第1回(北部)／参加人数 131名
- ▼H22.7.9
第2回(中東部)／参加人数 105名
- ▼H23.1.15
第3回(南西部)／参加人数 94名
- ▼H23.5.20
第4回(北部)／参加人数 111名
- ▼H23.7.7
第5回(中東部)／参加人数 170名
- ▼H23.11.10
第6回(南西部)／参加人数 146名
- ▼H24.5.17
第7回(北部)／参加人数 98名
- ▼H24.8.3
第8回(中東部)／参加人数 114名
- ▼H24.11.22
第9回(南西部)／参加人数 67名
- ▼H25.5.23
第10回(北部)／参加人数 100名
- ▼H25.7.24
第11回(中東部)／参加人数 149名
- ▼H26.1.23
第12回(南西部)／参加人数 115名

(地域リハ拠点事業マネジャー 江尻 和貴)

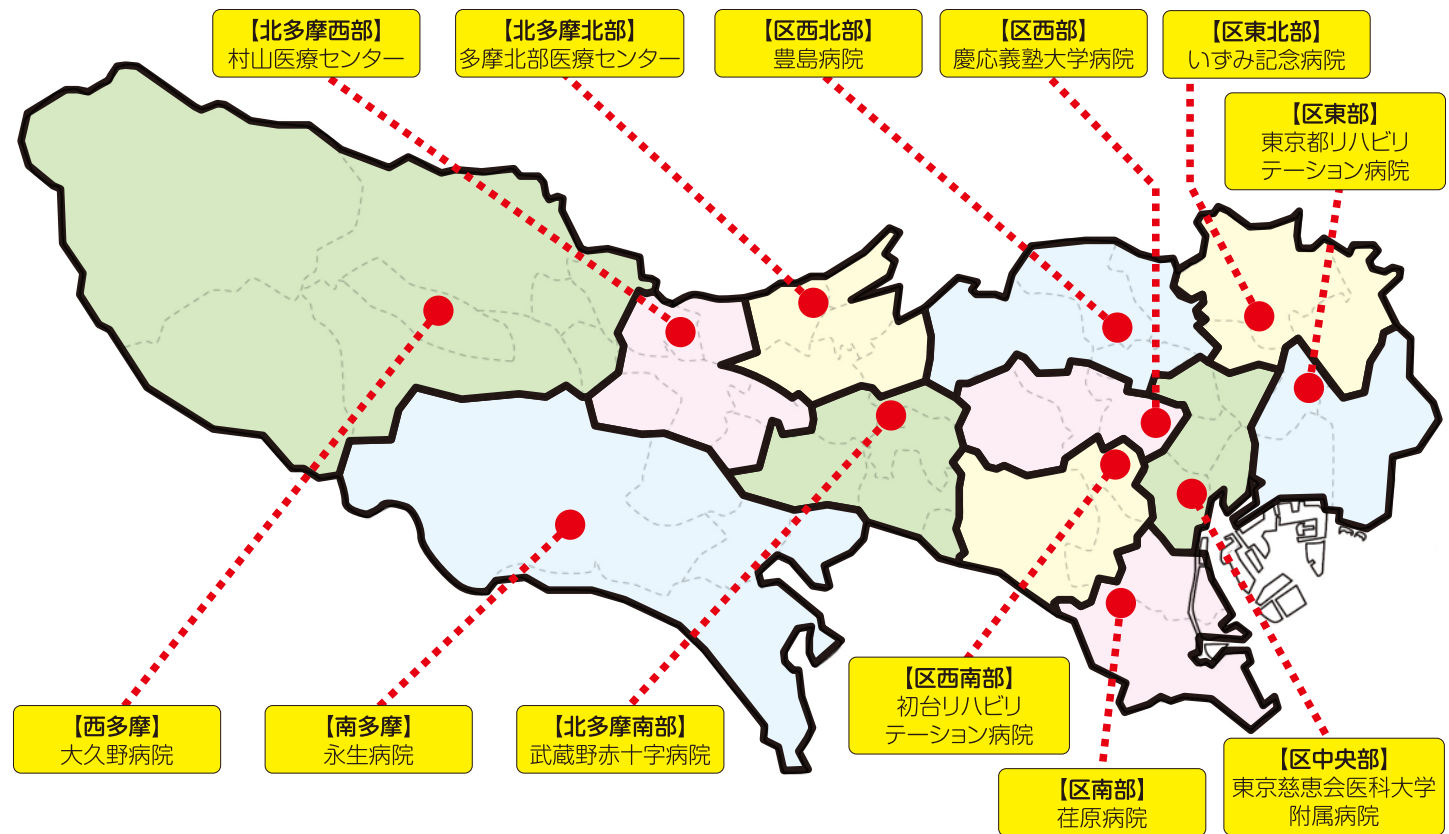
初台リハビリテーション病院における 地域リハビリテーション支援事業について

初台リハビリテーション病院では2014年から3年間の任期中で東京都地域リハビリテーション支援センターの指定を受けることになりました。

地域リハビリテーション支援センターとは、おおむね二次保健医療圏ごとに地域リハビリテーション支援センターを設置し、当該センターを中核拠点として、地域において様々な形態で実施されているリハビリテーション事業を支援し、地域におけるリハビリテーションのシステム化に資することが設置の目的となっています。

初台リハビリテーション病院では、本事業を推進するにあたり、協力機関として三宿病院、日産厚生会玉川病院、ナースステーション東京目黒支店、日本赤十字広尾訪問看

護ステーション、在宅総合ケアセンター成城の方々をお招きし、5月1日に区西南部地域リハビリテーション支援センター幹事会を開催し、2014年度の活動について意見交換を行いました。これにより本年度は、7月15日に「第1回区西南部地域リハビリテーション講演会」を開催しました。以降、各区域ごとに勉強会と技術研修会を合計12回開催予定の他、2015年2月には研究大会を予定し、区西南部地域における地域リハビリテーションの推進に向け、急性期・回復期・維持期において実践にあたる医師、看護、介護職、リハスタッフ、介護支援専門員、ソーシャルワーカー等への研修・研究活動、情報発信に努めて参りたいと考えております。



地域リハビリテーション支援センター活動予定

研修会(2014年8月～2015年1月 計12回予定)

医療・福祉・介護の専門職の方々を対象に、移乗・摂食嚥下といったテーマで技術研修を開催するほか、多職種によるワークショップ形式での勉強会を企画しています。

研究大会(2015年2月予定)

講演やシンポジウムを交え開催を企画しています。

(在宅三拠点サポート部長 高橋 誠)